

2026年2月13日

セイコーエプソン株式会社

技術を通じた国際協力により製品安全性の向上に貢献

— ASEAN 国家試験所向け製品安全性ワークショップ —

セイコーエプソン株式会社（以下、エプソン）は、製品を安心してご利用いただける環境づくりを大切にしています。製品開発や品質確保に取り組むだけでなく、国際的な評価環境の整備にも継続的に力を入れています。

共通の基準に基づいて製品の安全性を確認する取り組みは、製品そのものの品質向上に寄与するだけでなく、国や地域を越えて製品が流通する際にも、安心してご使用いただくために欠かせないものです。

2025年12月、一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（JBmia）が主催する、ASEAN各の国家試験所を対象とした製品安全性ワークショップが、長野県にあるエプソンの事業所で開催されました。エプソンは、本ワークショップの趣旨に賛同し、JBmia加盟企業の一員として、会場提供を含む運営面および技術面での支援を行いました。



ASEAN 各国の国家試験所関係者と JBmia 加盟企業が一堂に会したワークショップの参加者

本ワークショップは、製品安全性に関する試験技術の向上と、国や地域による評価の考え方や試験結果に関する相互理解を深めることを目的としています。国際的な製品流通が進む中で、評価の考え方や試験結果の信頼性を共有することは、重要な取り組みの一つです。

■ 1日目：試験結果をもとにした意見交換

1日目は、参加者が実際に実施した試験結果をもとに、グループに分かれて意見交換を行いました。試験設備や試験方法の違いによって測定結果に差が生じる要因を整理し、より正確で再現性の高い評価を行うための考え方について議論が進められました。国や試験環境の異なる参加者同士が共通の課題に向き合いながら理解を深める様子が見られました。



国籍や文化の異なる技術者同士が議論を交わし（左）、成果を発表した様子（右）

■ 2日目：国際安全規格に基づく試験デモンストレーション

2日目には、国際安全規格 IEC 62368-1に基づく安全試験のデモンストレーションが実施されました。複合機（コピー、印刷、スキャンなど）に特有の注意点にも触れながら、試験を行う際の考え方や評価のポイントが共有され、試験設備や試験方法に関する具体的な質疑が行われました。



製品安全性に関する試験デモンストレーションの様子

エプソンは今後も、JBmiaをはじめとする関係機関と連携しながら、試験所の技術力向上や人材育成の観点から支援を継続し、信頼性の高い製品評価環境の構築を通じて、国際的な製品流通と社会の発展に貢献していきます。

以上